（4）－①　回答

現在、中学校で行われている「目標に準拠した評価」、いわゆる絶対評価は、平成12年、当時の教育課程審議会（現在の中央教育審議会教育課程部会）の提言を受けて、平成１４年度、全国一律に導入された評価方法です。

この評価は、クラスや学年の中の順位で評価するのではなく、学習の目標や内容をどこまで達成できているかを評価するもので、一人ひとりの子どもの良さや可能性をのばすために導入されたものです。

したがって、学校ごと、教科ごとの、一人ひとりの達成度の状況には違いが出てきますが、重要なのは、一人ひとりの子どもの学習の状況が正しく評価されているということであり、各学校において、評価規準に基づいた適正な評価が行われることが大切であると考えています。

導入当初、高等学校の入学者選抜の資料になることから、学校間のばらつきによる不公平感が指摘されたため、県教育委員会では、全県で統一的に評価の手順を定めたり、評価規準の作成方法などを示した指導資料を作成するなど、評価の制度を高めるための取組を行いました。

また、毎年度、県内全ての中学校３学年（単学級の学年を除く）の教科別の評価結果について調査を行い、それぞれの教科の評定（５・４・３・２・１）の割合が県平均より10ポイント以上高い、または、低いなどのケースについては、市町村教育委員会に指導を依頼するとともに、ホームページで学校別・教科ごとに５段階評定の結果を公表しています。

さらに、検証のため、平成19年度から21年度に、横浜国立大学に委託して、県の学習状況調査の結果と学校での評価結果との相関を調査したところ、各学校において概ね妥当な評価が行われているという結果も得られております。

県教育委員会としては、今後も、各学校において、「目標に準拠した評価」の趣旨に基づいた適切な評価が行われ、妥当性・信頼性が高まるよう、実態の把握に努めるとともに、必要に応じて市町村教育委員会を指導してまいります。

②　進路指導について

進路指導について、教職員が指導をすることを回避し、塾に指導を求める学校があるという意見を多く聞きます。このような現状をどのように考えるのか回答頂きたい。またそのような状況を容認せざるを得ない場合、塾に行けない生徒はどのように対応すれば良いと考えるか明記頂きたい。

（4）－②　回答

中学校の進路指導では、日頃の生徒の学習の状況等を踏まえて、学校として責任ある指導を行うことが大切であり、ご指摘のあったような内容は、あってはならないことだと考えております。

県教育委員会としては、平成25年度に入学者選抜制度が変更になることから、各中学校で全ての教員にその内容をしっかり周知するよう、市町村教育委員会教育長あてに通知を発出するとともに、５月に行われた県・市町村教育長会議や県中学校長会総会の場において、保護者の声も紹介しながら、各中学校でしっかりとした進路指導が行われるよう、改めて要請しております。

神奈川県ＰＴＡ協議会では、この様な機会を通じて県教委や県校長会、現場の先生方とのキャッチボールをしながら相互理解を深め、課題解決に取り組んでいます。ぜひ多くの皆様から本年も要望や質問を頂けますよう、ご協力お願い申し上げます。要望や質問の収集に関しましては、23年度同様に各地の神奈川県PTA協議会常任理事もしくは役員よりご案内いたします。

要望書に関するご意見やご感想に関しましては所属されるPTAもしくは学校名とご連絡先を明記の上、県Pホームページ「問い合わせ」より、お問い合わせください。また、いただいたご意見は、24年度事業としての「意見・要望」に反映させていただきます。懇切丁寧に回答頂きました神奈川県教育行政の皆様並びに関係される皆様方には改めまして厚く御礼を申し上げます。ありがとうございます。

平成23年度広報紙コンクール

～家庭と学校をつなぐ広報紙～

審査委員　（敬称略）

神奈川新聞社編集局	狩野　武雄
神奈川県教育委員会生涯学習課	内田源一郎
神奈川県公立小学校長会	瀧本　朝光
神奈川県公立中学校長会	石渡　篤美

神奈川新聞社賞

秦野市立西中学校PTA「陽光」

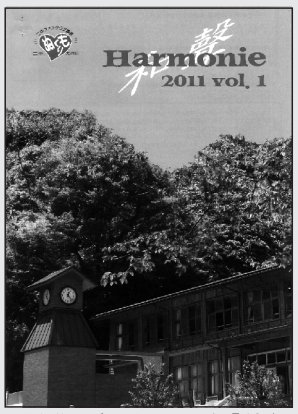
委員の中で話題になったことを「共に考えよう」と題して特集しました。「子どもがやる気を出すには」「受験にどう対処する?」などのテーマに、アンケートや先生方に話を聞き情報を集め、会員が実行するヒントとなるように掲載したつもりです。また学区の避難所や防災センター—に出向き、実際に体験したことも記事にしました。

取材なのに、いつの間にか自分の子育て相談になってしまったり、初めて自治体の非常食を食べたり。会員に伝えたい内容は自らの貴重な経験につながりました。
協力して下さった多くの方々に感謝するとともに、楽しく活動ができたことをとても嬉しく思っています。

秦野市立西中学校PTA
23年度広報委員長　水越　いち乃

県教育長賞

鎌倉市立第二中学校PTA「Harmonie」



勝手にQ&Aコーナー

Q:「忙しい、大変そう」と敬遠されがちな広報委員ですが、今回受賞できた秘訣はなんでしょうか？
また、活動方法は？
A:なんといっても「チーム力」ですね！
・メンバー全員の思いや考えを出し合い、納得いくまでお茶をしながら話し合う
・過去の紙面を参考にしながら、新しいことも個性的に取り入れていく
・バラエティー豊かな題材発見＆取材努力を惜しまない
・紙面作りは委員全員の持ち味を活かす
・読む側の立場も意識する
・出来上がった広報誌を愛おしく感じ、うっとり読み返しほめ合う

活動の年間テーマを「絆」に掲げ、学校を介して広報誌“Harmonie”が糸を紡ぐように、絆を繋げていく役割を担う思いで作成にあたりました。そこには大変さを上回る楽しさと爽快さがありました。

生徒、先生、二中OB関係者や地域の方々を取材する中で、「学校は子どもにとっても、大人にとっても多くの出会いと学びの場である」ことを再認識しました。

我が広報誌“Harmonie”がその名の通り、多くの「人の想い」が詰め込まれ、我が広報誌“Harmonie”がその名の通り、多くの「人の想い」が詰め込まれたハーモニーとなって賞をいただいたことを大変嬉しく思います。ありがとうございました。神奈川県PTA協議会ホームページに、広報誌Harmonieができるまでを漫画で紹介した力作の1ページが掲載されていますので、是非ご覧下さい!

鎌倉市立　第二中学校PTA　赤瀬川　由乃

会長賞

相模原市立富士見小学校PTA「スマイル・創立10周年記念誌」

市P連市長賞と県P会長賞のW受賞にV

市P連市長賞と県P会長賞のW受賞は、相模原市からは十数年ぶりと聞いて大変驚き、又、小学校に歴史を残せた事をうれしく思います。全ての保護者にちゃんと読んでもらえる今どきの広報誌にしなければと使命感に似た思いで委員長になり、広報委員32人の協力の下で三誌を発行しました。そして、昨年は富士見小の創立十周年を迎えた年でした。「車のカタログのような記念誌」にしよう!」と前PTA会長の西野氏の提案を実現すべく孤軍奮闘、広報役員と数人の有志と共に12ページに完結した記念誌を発行しました。

天野校長先生を始めとして、前PTA会長西野氏、そして広報委員全員のアイデアと労力、そして子ども達への愛があってからこそ頂けた賞だと思います。こんなに高評価して頂いたことに皆で歓びを分かちあいたいと思います。ありがとうございました。

富士見小学校前広報　委員長　上原富士子

優秀賞

優良賞

秦野市立西小学校
PTA……西のいぶき
寒川町立寒川東中学校
PTA……ひがし
鎌倉市立山崎小学校
PTA……やまざくら

奨励賞

横須賀市立大塚台小学校
PTA……わかばの丘
横須賀市立夏島小学校
PTA……なつしま
横須賀市立竹山中学校
PTA……わかたけ
葉山町立一色小学校
PTA・ほのぼのポスト
藤沢市立御所見小学校
PTA……いちょう
相模原市立藤野南小学校
PTA……みなみ風
座間市立栗原中学校
PTA……みなもと
秦野市立南小学校
PTA……さくら木
綾瀬市立綾瀬小学校
PTA……くすのき
伊勢原市立竹園小学校
PTA……わかたけ
平塚市立浜岳中学校
PTA……Tamatake
中井町立井ノ口小学校
PTA……Inokuchi
中井町立中井中学校
PTA……すだちの丘
真鶴町立真鶴町小中学校PTA……広報わ・広報潮かぜ
小田原市立三の丸小学校PTA……三の丸
小田原市立富士見小学校
保護者と教職員の会
ふじみだより・PTAだより
小田原市立早川小学校
保護者と先生の会
……はやかわ・かけはし
厚木市立森の里小学校
PTA……もりのさと
厚木市立戸室小学校
PTA……広報とむろ

『かながわ子どもセイフティプラン24』（こども総合保険・自転車総合保険）

当制度は、児童・生徒のケガや賠償事故等、日常生活中に想定される様々なリスクに対応した制度です。
『かながわ子どもセイフティプラン24』の7つの特長　●このご案内は、制度の概要を説明したものです。詳細は下記のお問合せ先までお問い合せください。

特長その1　お子さまがケガをした場合の治療費用を補償!（健康保険の3割自己負担分、差額ベッド代、入退院時の交通費など）
特長その2　補償期間（保険期間）中、1日24時間（学校の休みの日も）補償
特長その3　お子さまが日射・熱射によって熱中症を発病した場合を補償
特長その4　地震・噴火・津波によるケガも補償（除くD・DJプラン）
特長その5　自転車事故に備えた自転車事故充実補償プラン（オプション）を用意
特長その6　団体契約につき約32.5%割引適用（かながわ子どもセイフティプラン24・SAプラン加入者数5,000名以上の場合）
特長その7　掛金は便利な口座振替で、中学卒業まで自動継続が可能!
（注:私立中学校および神奈川県PTA協議会非会員校に進学された場合は継続できませんのでご注意ください）
当制度にご加入を希望される方は、右記の【当制度のお問合せ先】までお問い合わせください。
2012年10月現在の内容です。

【当制度のお問合せ先】
取扱代理店／株式会社ジーアンドケイ・アソシエイツ
神奈川県PTA協議会『かながわ子どもセイフティプラン24』係
0120-115-852
（9:00～17:00:土・日・祝日・年末年始を除く）
引受保険会社:AIU保険会社

A-000328